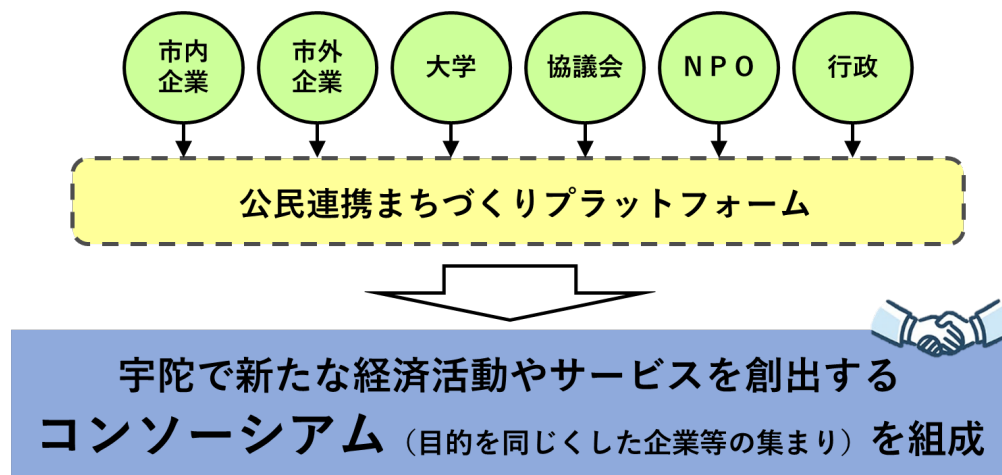


○宇陀市では、多様な主体から幅広く意見を集め、よりよい課題解決に繋げ、地域資源を活用した新たな経済活動やサービスの創出を目指すネットワーク「**公民連携まちづくりプラットフォーム**」を設置しています。

○公共貢献に係る提案等においては、以下の内容もご参考ください。



宇陀の強みと時代のニーズを
掛け合わせ、
宇陀から新しい価値を
生み出す

プラットフォーム のテーマ

オーガニックビレッジの取組を
起点とした農と食の活性化

ウェルネスシティの推進
(観光)

新たな学びの機会の創出

地場産業の活性化
地域ブランディング



近年の公民連携によるまちづくりの取組に関するご紹介(一例)

有機農業産地づくり（オーガニックビレッジ）

- 冷涼な気候等から、有機農業が盛ん。担い手は、複数の経営体によるグループや、農業法人などがあり、独自の販路確保や担い手育成等、多様な経営を展開。
- 令和4年11月に、農林水産省が進める「オーガニックビレッジ宣言※」を全国に先駆けて実施。

有機農業推進の先進地区の拠点創出を目指します。

※有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず地域ぐるみの取組を進める市町村。



薬草のまちとしての取組

- 宇陀は日本最初の薬狩の地であり、何人もの製薬会社（ロート製薬、ツムラ、アステラス製薬等）の創設者を輩出した薬草のまち。
- 現在、婦人漢方薬として使用される「大和当帰」の6次産業化に取り組んでいる。
- 薬草園の見学、薬草料理、大和当帰の植え付け体験、葛堀り体験等がツアーになった薬草ツーリズムが人気。



人材育成

○ NextCommonsLab奥大和

民間起業（製薬会社）・奈良県・宇陀市の3者により、食と農を中心とした市内での起業プロジェクトを設立。全国から起業家を公募し、事業実現に向けて最長3年間サポート。多くの起業家が誕生した。

○ エストニアとの交流による人材育成事業

市内の子どもたちを対象に、最先端のIT国家であり起業活動が盛んなエストニアと交流する機会を提供し、子どもたちの国際的な視野を広げるとともにアントレプレナーシップの養成を図っていく。



○ 最先端デジタル教育体験事業

地方自治体のDXを推進する民間企業や、民間デジタル教育施設と連携し、子どもたちに、最先端デジタル教育に触れる機会を創出する。



ジビエ利活用プロジェクト

- 農作物に被害を与えるシカ・イノシシの野生獣を資源として、食肉処理を行い、良質なジビエ肉を生産する「獣肉利活用施設」を設置予定。
- 毛皮は、なめし加工、縫製、販売までを一貫して行うシステムをもつ全国唯一の毛皮革産地の菟田野において、ジビエレザーとして加工。

